

地域の将来像

地域に《お互いさんで》がゆきかう あつたかつきをめざして

心温かい高月地域

- 環境を大切にし、安全で安心して暮らせる美しい地域づくり
- 災害に強く、人と人が助け合う地域づくり
- 地域に雇用があり、教育・福祉が充実し明るい未来が見える地域づくり
- 地域の歴史や文化を大切にし、その姿を子孫に伝承する地域づくり

- しうがい者が生き生きと活躍できる地域づくり
- 子どもを安心して育てられる地域づくり
- 地域福祉が充実し、みんなが明るく元気に暮らせる地域づくり

健康福祉部会

安全環境部会

●部会の活動目標

- 美しい自然や豊かな観光資源を大切にしながら、有効活用する地域づくり
- 高月駅周辺の活性化や中学校跡地利用で地域の発展を見据えた地域づくり
- 地域の農商工業の発展に努め、既存産業の充実を目指した地域づくり
- 絆やふれあいを大切にした地域活動の活発な地域づくり

- 青少年の健全育成と誇れる教育力をめざす地域づくり
- スポーツ・文化活動で生きがいとふれあいを高める地域づくり
- 豊かな自然と文化・歴史と共生する地域づくり

スポーツ部会 教育文化部会

●高月地域の良さと問題

- ① 地域住民の信仰心も強く「結い」や「絆」が住民間に根付いている。
 ② 住民の人柄が温和で人情溢れる地域であり、穏やかで、人間性豊かな人が多い。
 ③ 集落ごとに自治会が組織され、地域がまとまり活動に活動している。
 ④ 災害や犯罪争議も少なく、安心して生活できる。

- ① 価値観の変化・多様化で住民間のつながりや地域の活力に弱まりが出てきている。
 ② 災害時に的確に対応できる組織づくりや住民の防災意識を高める必要がある。
 ③ 高齢者がもつ豊かな知識と経験、いわゆる老人力を発揮する場所が少ない。
 ④ 地震や洪水など災害発生時に、地域住民全員の安全避難体制が十分でない。

- ① 高時川、余呉川の1級河川が流れ、水に恵まれ、緑豊かで、美しい日本の原風景が随所に残っている。

- ① 幹線道路の除雪が遅く、通勤・通学等に不便をきたしている。
 ② 集落内の河川や広場など環境悪化が進んでいる。
 ③ 道路の雑草やゴミの散乱が目立ち、環境や通行に支障が出てきている。
 ④ 空き家や空き地が増え、自治会内の安全・安心に影響が出てきている。
 ⑤ 大雨による河川の氾濫が心配され、流域治水の取組みが必要である。

- ① 元気な高齢者も多くグランドゴルフなどで健康維持に努めている。
 ② 子育てサークル活動が活発に行われている。
 ③ 総合病院、開業医など身近に医療機関がある。

- ① 超高齢社会になり介護や見守りなど地域の支援と理解を高める必要がある。
 ② しうがい者(児)も一緒に働き、暮らせる地域のサポート体制が不十分だ。
 ③ 子どもを安心して産み、育てられる環境が整っていない。
 ④ 地域でふれあいと健康維持を考える活動が必要である。

- ① 神社仏閣が多くあり、地域住民の信仰心も篤く、豊富な歴史的文化遺産に恵まれている。
 ② 「観音の里」にふさわしく多くの集落に観音さんが祀られ、集落内の人々が文化財の伝承に努めている。

- ① 小学校の児童数が減少して、子どもたちが切磋琢磨する機会が減っている。
 ② 子どもたちの全体的な体力低下と持久力・忍耐力が乏しくなっている。
 ③ 問題に対して他人任せで、公を考える責任ある大人が少なくなった。
 ④ 伝統文化を継承する住民意識が希薄化している。
 ⑤ スポーツ活動に参画する人が限定的で関心が低くなっている。

- ① 地域がコンパクトで、主要道路が縦横に走り、木之本ICやJR高月駅も近くにあり交通の便利が良い。
 ② 市の中心街への交通ルートも多数あり、災害や異常に便利である。
 ③ 多くの企業や大規模店舗が立地し、雇用を始め生活の利便性が比較的高い地域である。
 ④ 山間部がなく、コンパクトで雇用、勉学、医療・介護の場があり生活しやすい地域である。

- ① いくつも誇れる資源がありながら観光や地域振興に活かしきれていない。
 ② 高月駅周辺にぎわいがなく、中学校跡地活用と合わせて考える必要がある。
 ③ 農業者の高齢化、後継者不足を補うため、地域全体で農業を維持していく仕組みづくりが必要である。
 ④ 国道8号沿いに商業施設が偏在し、高齢者の買物に不便が出てきている。

●高月地域の現状

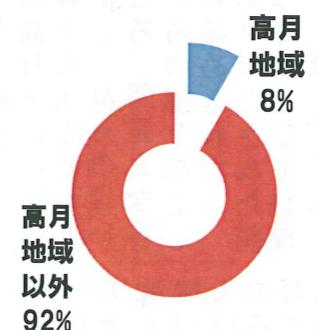
高月地域は、長浜市の北部中央部に位置し、三方を緑豊かな山並みに囲まれ、平坦な部分は肥沃な田園が広がり、その中を東に高時川、西に余呉川が琵琶湖に注ぐ、面積41.22km²の比較的コンパクトな地域で、33自治会に約3,200世帯、10,300人の人々が暮らしていますが、年々高齢化率も上昇し、集落内には空き家・空き地も目につくようになり新たな地域の課題になりつつあります。

また、国道8号、365号が南北に走り、北陸自動車道木之本ICへも10分と近く、JR北陸線高月駅もあり便利な交通体系を持っています。そのため、昭和の中頃に大手硝子製造会社の誘致以来、関連企業の進出も相次ぎ、地域の活性化は飛躍的に進み、国道沿には商業施設も立地するなど、地元農業と共に産業・生活とも大きく発展してきました。しかし近年、地域には閉塞感もあり、少子化による生産年齢人口の減少は地域発展に暗雲を感じます。

●高月地域の人口推移



●人口の状況



(H23.9.1現在)
長浜市全体 125,330人

高月地域	10,290人
木之本地域	8,045人
余呉地域	3,664人
西浅井地域	4,553人
湖北地域	9,138人
虎姫地域	5,586人
びわ地域	7,398人
浅井地域	13,723人
長浜地域	62,933人

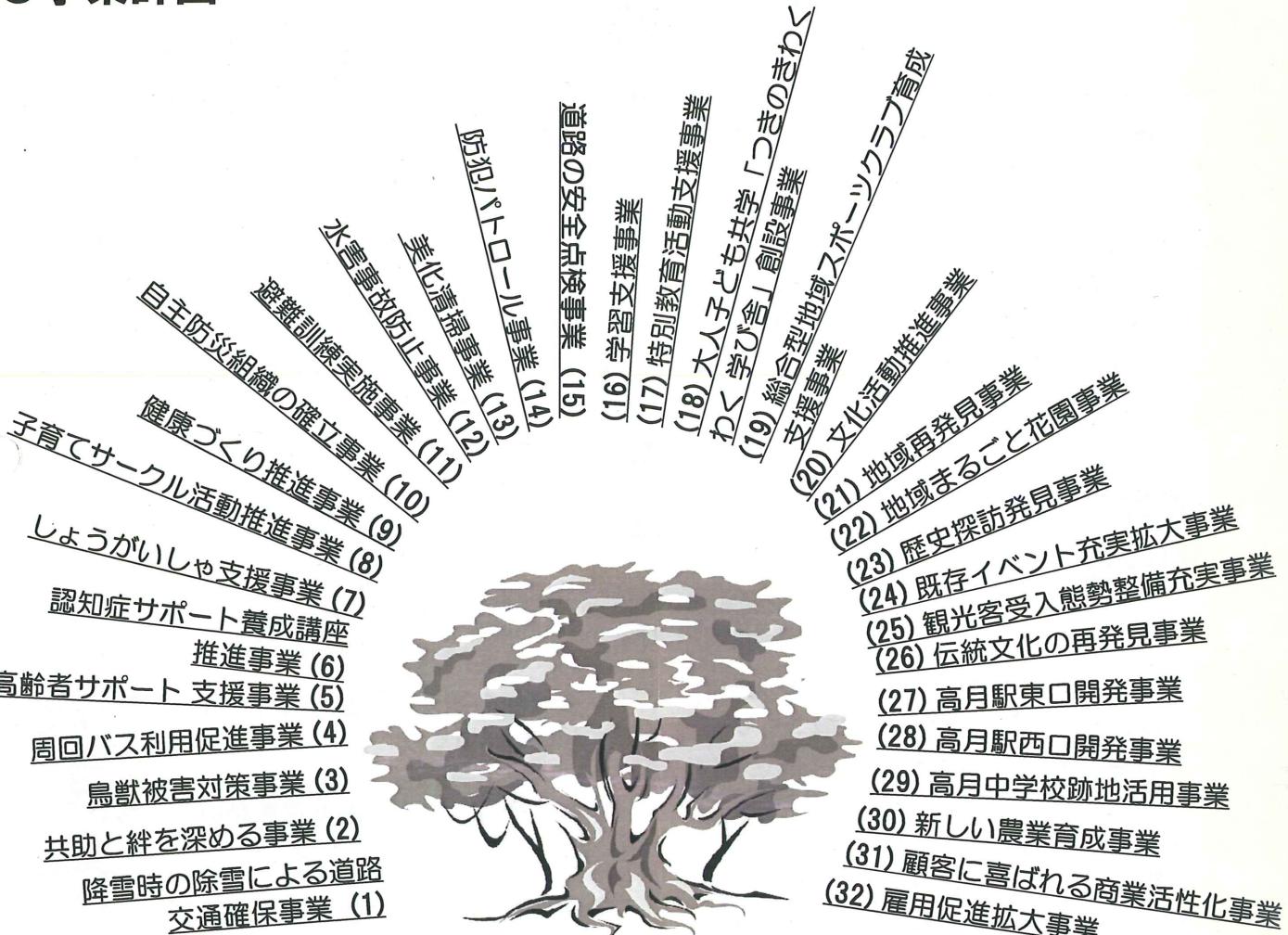




高月地域づくり計画書

絆と安心のプログラム

●事業計画



●事業実施のスケジュール

各事業の開始予定年度を示しています。

年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27・28年度
事業の番号	(1). (2). (3). (4). (5). (7). (8). (9). (10). (12). (13). (14). (15). (16). (17). (19). (20). (23). (24). (29). (30)	(6). (11). (25). (26). (27). (28)	(18). (21). (22). (31)	(32)

この図柄は、「たかつき」で楓の木(つきのき) 櫻(ケヤキ)をシンボルに、櫻一木造千手観音をイメージしています。

を待のか人のるがる絆てにが月なは行う怠れい然耳たなけこな尊もほのよる九月の奈良、和歌山に
終を協もと安世りも社地安発地い高政かっなけのにといれの山い稀ど土砂災害が害な
えし議しの全のがの会域全足域だを任。ていれ力しい。ば教河命だ災害災良、台風十二号に
たて会れ「と中薄だをでとしづろくせ他はとどはたう▼申訓ををろ害が害な
い。のな絆安だら築支安たくうくに人いしも計言想しを壊奪う。続な
こ活い。心ぎ人こえ心りかつし任なてり確葉定訳活さわね。大震災年に
の動。のは暮つとうあを暮協てせい責計知かを外がかれれ多いど
一に来強人らつのとえ求ら議▼は自にだ任りれによだ立さた貴くたな
年期年さとしあ繋するめし会高いらろを知な自くったな重の年れにれる、十

編集後記